

令和8年度第4回スポーツコミッション研究会

開催概要

○ 開催趣旨

(一財)日本スポーツコミッション(SCJ)では、スポーツを競技スポーツのみならず、健康の維持・増進からレクリエーション、体育、余暇活動等を含む身体活動すべてと捉えたうえで、スポーツの有する機能や効果をまちづくり、地域の活性化にどのように活用していくか、推進組織としてのスポーツコミッション(SC)の創設や活動内容などについて、「スポーツコミッション研究会」(SC研究会)を平成21年度以降、毎年数回にわたって開催してきました。

近年、スポーツを取り巻く環境は大きく変化してきており、昨年にはスポーツ基本法の改正もあり、「繋ぐ、繋げる」がキーワードとして上がってきています。この繋ぐ、すなわちリエゾン機能についてSCJでは、組織を設立した当初からSCのキーワードだと謳ってまいりました。

まちづくり・地域の活性化は、行政のみが行うのではなく、地域住民を含む関係者が一体となって進めていく活動であり、SCはスポーツに関わる組織・団体などを繋ぐ役割を果たしていくことが求められます。また、まちづくりに関しては、住民自らが行うボランティア活動も重要で、この活動に対してもSCが積極的に関わっていくことが望まれます。

このような視点でスポーツを捉えていくと、多世代交流や多文化交流といった日本あるいは地域の抱える課題に対し、如何にスポーツを活用していくかを考える必要があります、そのために関係組織・団体を如何に繋げていくかが課題となります。

その課題の一つに、スポーツを実施するうえで必要となるボランティア活動を、如何にして将来的なまちづくりに資する活動に繋げていくかがあります。これはSCJ設立当初、SC研究会において何度か議論しておりました。その原点は、1998年に長野市を中心に開催された第18回冬季オリンピック・パラリンピック競技大会でのボランティアの活躍があり、この大会でボランティアコーディネーターをされていたのが、現在私どもの評議員でもある丸田藤子さんでした。丸田さんには、ご自分が経験されたスポーツボランティアの育成、スポーツボランティアをまちづくりボランティアに変えていくための活動、あるいは地域外から参加されたボランティアの方々と地域住民との交流などについても講演していただきました。

一方、総務省では、地方での人口減少に対応すべく、交流人口や関係人口の増大を図るための施策を展開しており、その一環として今年度から「ふるさと住民登録制度」を制定し、モデル的の事業を開始しております。

このようなことから、本年度4回目のSC研究会では、スポーツボランティアをきっかけに、地域内外の人々を繋ぎ、交流・関係人口の活発化、さらには定住人口の増大に向けて、総務省の「ふるさと住民登録制度」の活用を念頭に開催することとしました。

基調講演は、石破内閣で内閣官房参与をされ、私どもの活動についても詳しい間宮さんをお願いいたします。講演は、前述の丸田さんに、スポーツボランティアとまちづくりについてオンラインでお話しいただきます。さらに、総務省からふるさと住民登録制度に詳しい山本室長、長野市内在住で2028年に長野県で開催される国民スポーツ大会に関係されている高畠さん、スポーツボランティアを活用した活動を実践されているどんぐり財団の関口さん、スポーツボランティアとふるさと住民登録制度に詳しいKNT-CTホールディングスの青木さんにお話しいただきます。ご講演後には、関係者によるディスカッションを、理事長の木田がモデレーターとなって行います。

このSC研究会が、ご参加の皆様の今後の活動の一助となれば幸いです。

令和8年10月吉日
一般財団法人 日本スポーツコミッション
理事長 木田 悟

- 開催テーマ「スポーツボランティアの活用によるまちづくりーふるさと住民登録制度を活用してー」
- 主催：一般財団法人日本スポーツコミッション（SCJ）
- 日時：11月27日（金）13時30分～17時30分
- 開催方法：会場とオンラインのハイブリッド
- 開催場所：衆議院第二議員会館 第8会議室
- 内容
 - 1. 主催者挨拶：木田 悟：SCJ 理事長《5分/13:35》
 - 2. 来賓挨拶：山本 左近：衆議院議員《10分/13:45》
 - 3. 基調講演《30分/14:15》
 - 間宮 淑夫：元内閣官房 参与
 - 演題：（仮）スポーツボランティアを活用したまちづくり推進に向けて
 - 4. 講演《14:15～16:30 ※14:15～15:00はOL》
 - ① 丸田 藤子：元長野オリンピック・パラリンピック ボランティアコーディネーター【OL】
 - 演題：（仮）スポーツボランティアからまちづくりボランティアへ
 - ② 高島 靖明：一般社団法人ニコラップ 理事【OL】
 - 演題：（仮）国民スポーツ大会開催を契機としたスポーツボランティアとその活用
 - ③ 関口 昌和：一般財団法人どんぐり財団 代表理事
 - 演題：スポーツボランティアとその活用事例
 - < 休憩 15:30～15:45 >
 - ④ 山本 周：総務省自治行政局 ふるさと住民登録制度推進室長
 - 演題：ふるさと住民登録制度について
 - ⑤ 青木 淑浩：KNT-CT ホールディングス株式会社 地域共創推進室 部長
 - 演題：（仮）スポーツボランティアとふるさと住民登録制度を活用したまちづくり
 - 5. ディスカッション《16:30～17:30》
 - テーマ「スポーツボランティアを活用したまちづくりを推進するために」
 - モデレーター：木田 悟：SCJ 理事
 - パネリスト：山本 周：総務省自治行政局 ふるさと住民登録制度推進室長
 - 関口 昌和：一般財団法人どんぐり財団 代表理事
 - 青木 淑浩：KNT-CT ホールディングス株式会社 地域共創推進室 部長
- 募集人数：会場・オンライン：いずれも40名程度
- 資料代等：<SC協議会会員> 3,000円
 - <SC協議会会員外>自治体・SC等 5,000円、民間 8,000円 ※事前振込
- 申込先：11月24日（火）までに info@sportscommission.or.jp へお申し込みください。
11月25日（水）に、お申し込みのメールアドレスへ資料をお送りいたします。
- 意見交換会：研究会終了後、別会場で意見交換会を開催（場所は現時点では未定）
- 相談会：スポーツコミッションの創設や今後の活動、地方創生事業の提案等をお考えの自治体や課題を抱えるSCの方々を対象にご相談に応じます（11月28日（土）を予定）。ご希望の方は kida@sportscommission.or.jp にご連絡ください。
- お問い合わせ：今回の研究会に関するご質問は、info@sportscommission.or.jp までご連絡ください。